

# Talk & Talk

## 市民談話室

日ごろ考えていることや身の回りの出来事などを、500字程度にまとめて投稿してください。紙面の都合上、若干手直しさせていただくこともあります。あて先は広報広聴係（〒950-12 白根市大字白根1235 白根市役所企画財政課）です。

### 心安らぐ家庭医との お付き合い

長谷川ヨリ（二の町第二）

季節の変わり目になって、寒暖の差が激しくなると、肩や後頭部が痛んできます。晴れた日にも気分がはつきりせず、楽しくないのです。いつもの自律神経失調症が始まったのかなと思ひ、かかりつけの先生のところへ、「先生、血圧を測ってください」と行きました。「できるだけ体を動かさない。歩いてみますか」と先生。また別の日に「日焼けでしょうか。体がかゆくて」と尋ねると、「じんましんかもしれない。体質によって、薬の副作用ということもあるから、飲んでる薬を全部持って皮膚科で診察を受けてください」とアドバイスしてくれました。数日して、「副作用ではないそうです。体質的なもの

だからと外用薬をいただいたきました」と報告してきました。還暦も過ぎれば、老人性疾病の一つや二つあっても当然ではないでしょうか。具合の悪いときに話を聞いて適切な注意をしていただける専門家の存在は、とてもありがたいものです。年に一回の市の健康診断を受け、明るい老後を生きたいと努力しています。

毎年、家の周りに子猫が捨てられています。餌を求めて、朝から晩まで鳴き通し、餓死するか交通事故に遭うか、仮に生き延びたとしても、すぐに子供を生んでしまいます。平成六年で本県の猫は約四千九百匹とか。捨て猫をする人が憎いです。全国で六十以上の自治体が大や猫の不妊手術助成を行っているのに対し、本県はゼロとか。飼えない子猫を増やすより、一、二万円程度の避妊や去勢手術などに公的な助成制度を白根市が設けてくれることを切望します。

### 命の大切さ

T・K

六月十九日の夜、バスを降りるときに車内から大きめの犬が道路に横たわっているのが見えました。そのまま放っておくことができず、恐る恐る近づいてみました。外傷はなく、動けませんでした。顔を上げようとすると、病気のためか、目があまり見えないようでした。動かすこともできず、車をよけるだけでどうしていいのかわかりませんでした。目の前のお店に連絡したところ、「仕事があるから」とまったく取り合っ

もらえませんでした。お客さんも何人かいましたが、笑いこそすれ、誰一人出てきてくれる人はいませんでした。誰だつてこんなことに関わりたくないし、見て見ぬふりの方が簡単ですが「まだ生きてるのに」と憤りさえ覚えました。「誰か少しいけ手を貸してくれませんか」と思っていると、しばらくして若い女の子が車を止め、声を掛けてくれました。彼女は心配そうにのぞき込み、そして犬を両腕で抱き上げ、そばの空き地に移してくれたのです。かなり重かったでしょうし、洋服も汚れたと思います。誰にでもできることではないと思います。彼女の勇気に感謝しています。できることはそれが精いっぱいでした。翌朝、もう一度見に行つたのですがどこにも姿はありませんでした。きっと無事に家へ帰れたのだと信じています。ハンディのあるような犬を運動させるときは一緒に歩いてあげてください。家族の一員であり、口がきけないのですから首輪に電話番号だけでも書いてあげれば……。そしてもう少しだけ一人ひとりが命の尊さ、大切さ、優しさを忘れないでほしいと思います。

### 俳句

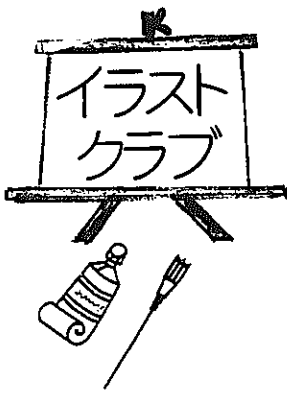
桐の花村に音なき昼餉時 公修 雪夫  
羽抜鶏頼着もなく遊びをり 豊木サダ子  
芝桜二階の窓に千蒲団 猪股 南魚  
汝は黒く生れて鳥風薫る 樋口 トシ  
話しつつ袋吹き吹き掛けつづく 五十嵐寛吾  
玫瑰や明るき丘の喫茶店 小林 光子  
箭の伸び放たれや空屋敷 勝山 絢子  
豌豆の小さき鞘に蔓絡む 小林 すみ  
毀される木造校舎に初夏の風 針貝 恵美  
基一ツ傾むいたま、梅雨に入る 石田 豊実  
田植する早乙女姿よ今一度 田沢 靖子  
袋かけキャタツの上の話し声 田中 昭一  
半纏のキリリと柄め風祭り 坪川 桐山  
山吹やひとつひとつの花暮れる 松沢 義夫  
羅に母の面影生きてをり 間島喜代子  
羅や足袋のこはせのかけ忘れ 小林 なお  
羅の僧の作務衣の軽るやかに 小林富沙子  
羅のはやらぬ着物捨て切れず 金子 千代  
忘れぬし羅出して風通す 知野信一郎  
羅や母と歩きし思ひ出も 塚本 静子  
泰山木咲く高窓の鉄格子 田中美根子  
羅や母のさみしき膝がしらす 間島 秀穂

### 短歌

どろ沼に咲く蓮の花美しく 出来島ミサホ  
泥こそ命尊きものを

### 市民文芸

たまさかに博省せし子と厨辺に  
我が家の味をつくるよるこび  
満開のかりんの花に昨夕の雨  
降りたる後のくれなゐぞ濃き  
からみつ水の中に落つる服無念  
その大骨のみしみしと鳴る  
雨やみて昏れゆく町の夕空に  
水木は清き花咲かせおほり  
安宅医のやさしき看護婦意外なり  
顔に似合ず注射は痛し  
つぎつぎと吾が身に迫る病など  
負けてならじとねばる八十路を  
記念にと貰いし球根アマリリス  
真赤な大輪次々と咲かす  
生まれ来て八十の項上間近し  
仏になりしか蓮花に向う  
川 柳 長谷川久二  
根性の足りない議員尻を振る 吉川 彰  
故郷が好き夫が居て孫を抱く 今井八重子  
晩学のペンが息切れして困る 織田 セツ  
刺の流れに残されまいと現代詩 織田 福治  
蜜住むオラが村には汚職ない 大谷 龍吉  
極楽から年金送る夫が居る 後藤マサノ  
眼裏に期待を込めるアトラクタ 佐藤 トミノ  
低金利承知で期待する満期 佐藤 ヨキ  
ライバルの不意打ち脈が荒くなる 田村 恒夫  
中元商戦開魂チラシで一騎打ち 高橋祐四郎  
がん診査終えて安堵の缶ビール 中村 尚治  
葉ばなれに息切れしてる過保護の子 西条 ムラ  
子に過大評価している母の膝 山岡 フミ  
緑の下で金も力もない夫 今井 七郎



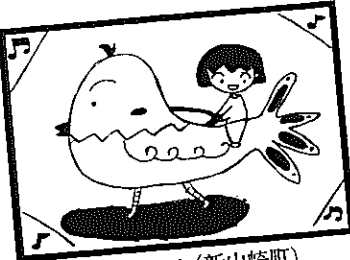
◎イラストははがきに黒一色ではっきりと。  
◎薄い鉛筆書きはボツにします。  
◎ペンネーム希望の人も住所、氏名、年齢を忘れずに。採用分には粗品を進呈。  
◎締め切りは毎月15日。それ以降に届いたものは翌月に回します。  
◎あて先 〒950-12 白根市大字白根1235 白根市役所広報しろねイラスト係



▲P.N ほほべに命さん



▲P.N フォーチュンさん



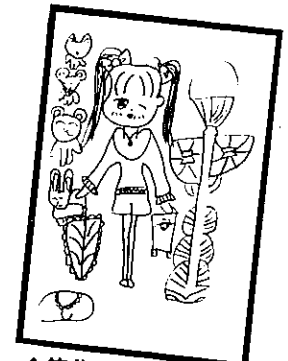
▲上野真子さん(新山崎町)



▲池田悠太郎さん(山崎興野)



▲古寺亜矢香さん(白井・10歳)



▲笠井美希さん(能登・7歳)

# 広報クイズ

【応募方法】 はがきに答え、住所、氏名、年齢、ご意見を書いて白根市役所広報係（〒950-12 白根市大字白根1235）へ。締め切りは8月15日（木）必着。正解者の中から抽選で5人に5000円の図書券を、3人に県立自然科学館招待券をペアで差し上げます。

- 【問題】
- ①市民1人当たりが1年間に出すごみの量は平成7年度でどのくらい？（ヒント＝2ページ）  
A＝342キロ B＝361キロ C＝365キロ
  - ②ハウス栽培で年中食べられるようになったトマト。旬はいつ？（ヒント＝10ページ）  
A＝春 B＝夏 C＝冬
  - ③6月23日に行われた男の料理教室で作ったものは？（ヒント＝13ページ）  
A＝うどん B＝そば C＝スパゲティ
- 【当選おめでとう】 先月の正解は①A②B③Bでした。【図書券】 和田妙子（七軒） 長井セツ（日の出町） 和泉進（桜町） 田村美恵子（東町） 栗田京子（下茨）【自然科学館招待券】 宮田芳子（大通） 松野正俊（菱湯） 大関操（左エ門小路）

## 今月のハガキから

◎会社への通勤に路線バスを利用しています。毎朝、数分間待っているバス停留所には、ごみ箱が設置してあります。それにもかかわらず、たくさんたばこの吸いから、空き缶などが散らかってとても汚いです。自分のごみくらい自分で責任を持ってほしいものです。(O)

◎毎年、壮大に繰り広げられる白根大風合戦。大観衆の中、ぎゅうぎゅうで立ち見で観戦。もっと観戦場所がたくさんあったらゆっくり見物もできるのに…。残念に思いました。(K)